「令和８年度全国学力・学習状況調査」の結果

問 教育委員会　学校教育課　☎内線 347

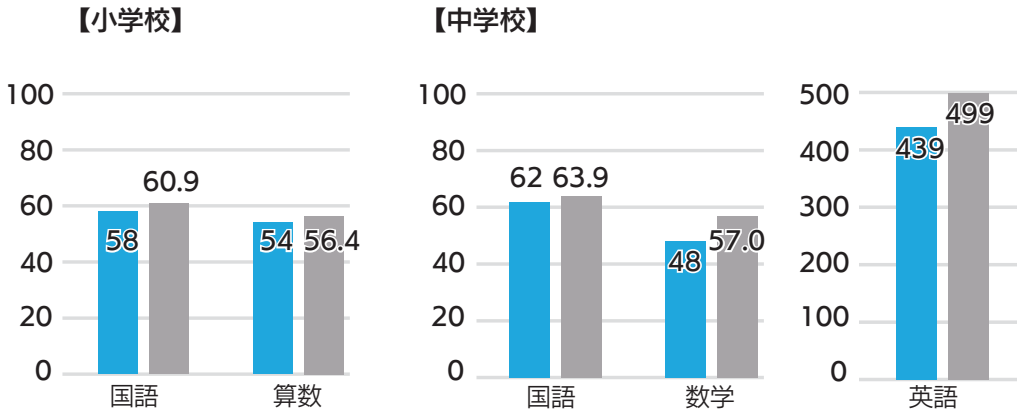
今年４月、全国の小学校６年生、中学校３年生を対象に同調査を実施。結果をもとに松浦市の子どもたちの学力と学習状況の現状および課題についてお知らせします。

①調査内容　【学力調査】国語、算数・数学、英語　【児童生徒質問紙調査】学習・生活に関するアンケート形式

②調査目的　この調査は、対象学年だけでなく、全学年を通じた学習の成果と課題を検証し、学力の向上に向け、学習の改善・充実を図ります。

③学力調査結果（全国と本市の平均正答率）　**※市の数値については、整数で公表されています。**

松浦市　全国　（単位%）　**※中学英語は検査日や問題内容が異なるため *IRT スコアで表示**



*IRT スコア…
児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。

＜市内小・中学生の学びに向かう力を育むために　～調査結果の分析から～＞

正しい生活習慣を身に付けましょう



・毎日同じ時刻に起床・就寝している児童生徒は正答率が高い。

確かな学力を付けるためには、早寝・早起き・朝ごはんをはじめとした規則正しい生活習慣を身に付けることが大切です。

読書をする習慣を身に付けましょう



・１日に 30 分以上読書をする児童生徒は国語に限らず、他の教科においても正答率が高い。

読書は語彙力や読解力を高めるだけではなく、思考力や表現力の向上にもつながります。
また、物語を通じて登場人物の視点を擬似体験することで人の気持ちを推し量る共感力が育ち、説明文などでは論理的思考力を高めることにつながります。

家庭学習時間を確保しましょう



・小学生１時間以上、中学生２時間以上家庭学習をしている児童生徒は正答率が高い。
・自分で計画を立てて勉強している児童生徒ほど正答率が高い。

学校での学びに加えて予習や復習などの家庭学習の充実を図ることが学力の定着につながります。
また、自ら進んで机に向かう学習習慣や自分で計画を立てて実行する経験を重ねることで、問題解決能力や自律心などの自己管理能力を身に付けることができます。

学校と保護者・地域の皆さまと共に育む松浦市の子どもの学力

松浦市では、今後も子どもたちの生きる力を育むために学校を支援し、学力向上に向けて課題改善のための方策に取り組んでまいります。子どもは「家庭で育ち、学校で学び、地域で磨かれる」と言われます。

子どもたちの輝く未来のため、皆さまの温かいサポートをよろしくお願いします。